



SANSHIN GROUP  
Monthly Report on the ESG  
Oct.2019

# INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

# TOP MESSAGE

小泉進次郎環境相が気候行動サミットなどに出席するため滞在していたニューヨークでステーキを食し、さらに毎日でも食べたいと発言し叩かれていた。牛肉、豚肉、鶏肉などの畜産業界は、農場で多大な土地と水を汚染し、加工や輸送にも多くの二酸化炭素を出すためとされ、ニューヨーク市では肉を消費しないことで、健康と、地球の健全さも維持しようという「ミートレス・マンデー運動」まで広がっているらしい。一方で、三大栄養素のひとつであるタンパク質が豊富に含まれる肉類。血液や筋肉などの体をつくる主要な成分で生きていくうえで特に重要な栄養素とされている。食せなくなるのは個人的にもツライ。解決へ向けたクールでセクシーな歩み寄りに期待したい。

サンシン電気株式会社 取締役  
加来 孝

# グループ社員による今月のつぶやき

## SANSHINEast

身近なプラスチックゴミ問題にまつわるところで、ファミレス等でのストロー、最初は違和感がありましたが、最近では置かれていないことにすっかり慣れてしまいました。便利になり過ぎた生活の中で、本当は不要（過剰）なものがまだまだ見つかりそうです。広い視点を持ち、プラスチックゴミに限らず、まずはリデュースを心掛けたいと思います。（H.K.）

## SANSHIN Hong Kong

最近、連日の大雨の影響で、中国各地で水害が発生し、家屋などの被害のほか、人が死亡するというニュースがよく耳にされます。自然災害は仕方がないですが、自然環境を変えることは確かにできることです。これも私たち地球人の義務と責任です。（P.L.）

## CSI

CEBUは今も建設ラッシュで都市計画が行われています。その中で第二の橋 通称ニューブリッジに隣接する道路拡張工事が行われており、立体交差点にされています。渋滞が解消されることを期待しています。（K.S.）

## SANSHINWest

昔から「柿が赤くなると医者青くなる」と言われています。柿を食べると風邪をひいたりする人が少なくなって、医者の方としては病人が減って、商売あがったりになるという意味です。食欲の秋でおいしいものがたくさんありますが、柿をたくさん食べて風邪予防しましょう。（Y.H.）

## SHINKOWA

台風15号に続き19号が関東、東北、信越地方に多大なる被害が発生しました。新光和千葉工場は被害は有りませんでした。台風の大雨による河川の氾濫で大変な事態になっている所が数多く報道されております。一日も早く通常の生活に戻れるよう祈るばかりです。（M.N.）

## SC2

台風19号では、都内でもあちこちが水没してしまいました。武蔵小杉駅の様子には驚きました。古地図で見るとあのあたりは旧河道で、本来は宅地に適していないといわれています。宅地造成し、イメージ戦略で地名を変え、タワマンを建てて得たものとは・・・。考えさせられます。住む場所を選ぶときは、古い地図を見てからが良いですね。（M.I.）

# ESG Report (品質)

# 今月のTOPICS うまくいかない時、落ち込む自分と上手に付き合う方法

何もかもうまくいかなくて、意気消沈する日は誰にでもあるものです。軌道修正するには、どうしたらいいのでしょうか。

## ■とにかく行動を起こす

何でもいいので、普段しないことをしてみましょう。意外と長く続くかもしれません。好きなことを見つけたり、新しい出会いがあったりして、マンネリの生活に新風が吹き込むかもしれません。ときめきを見つけることが大切です。

## ■助けを求める

他人の力を全く借りずに生きていける人はいません。話を聞いてくれる人やアドバイスをくれる人を見つけて連絡しましょう。人生は人との出会いやつながりがあってこそ。あなたのことを気にかけてくれる人が必ずどこかにいるはずです。

## ■エクササイズする

疲れた心のストレスを解消し、よく眠れるようになり、エネルギーが沸き上がり興味があることができるようになります。

## ■屋外に出る

屋外でほんの数分過ごすだけで、気分が良くなるための最初のステップにはなります。屋外で数分座っているだけでも構いません。目に入る景色が変わると良い影響があるかもしれません。

## ■生活に変化を取り入れる

生活をさまざまな角度からじっくりと見直して、不幸の原因を見つけましょう。そうすれば、何をどう変えるべきかわかってきます。

自分でコントロールできなくなったと感じたら、マインドセットを変えてみる时机です。自ら行動を起こさないと何も変わりません。

# サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

# 品質への取り組み

## 要因分析

<品質管理の基本である5M>  
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、  
Man (担当者)、Measurement (計測)

## 段取り

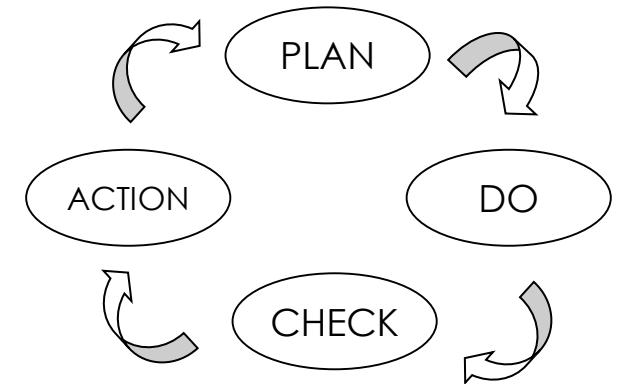
<仕事の段取り5W3H>  
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)  
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

## 行動

<製造の基本である3現主義>  
現場、現実、現物

## 管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

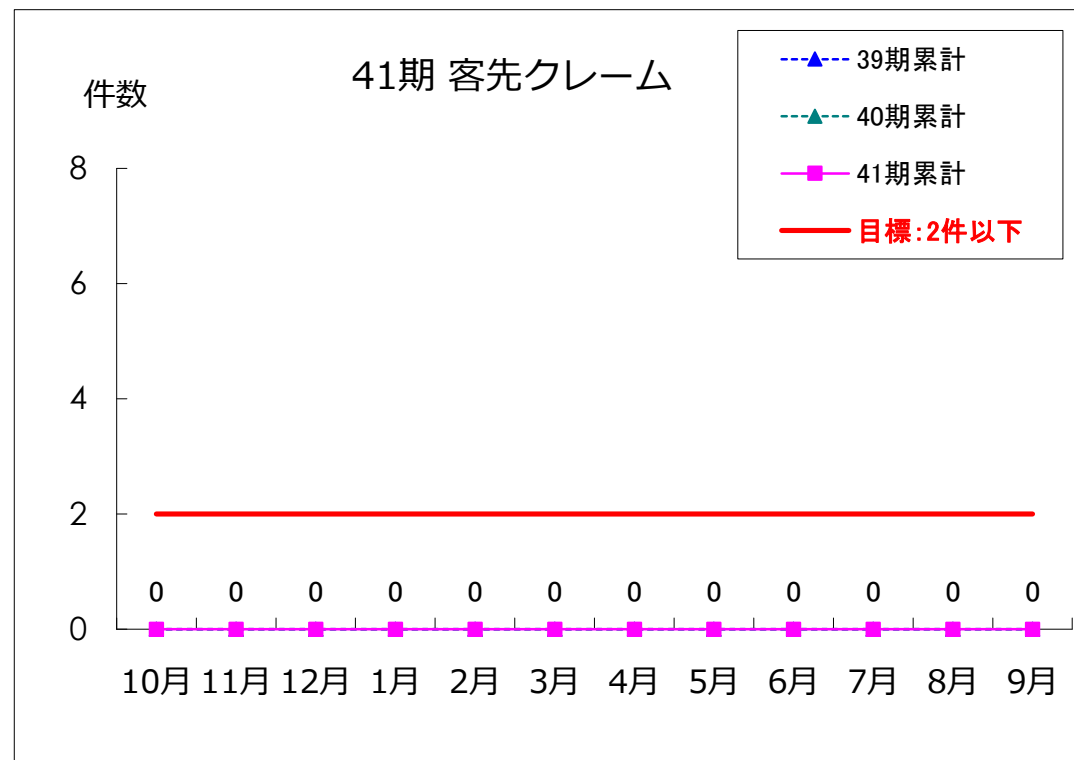
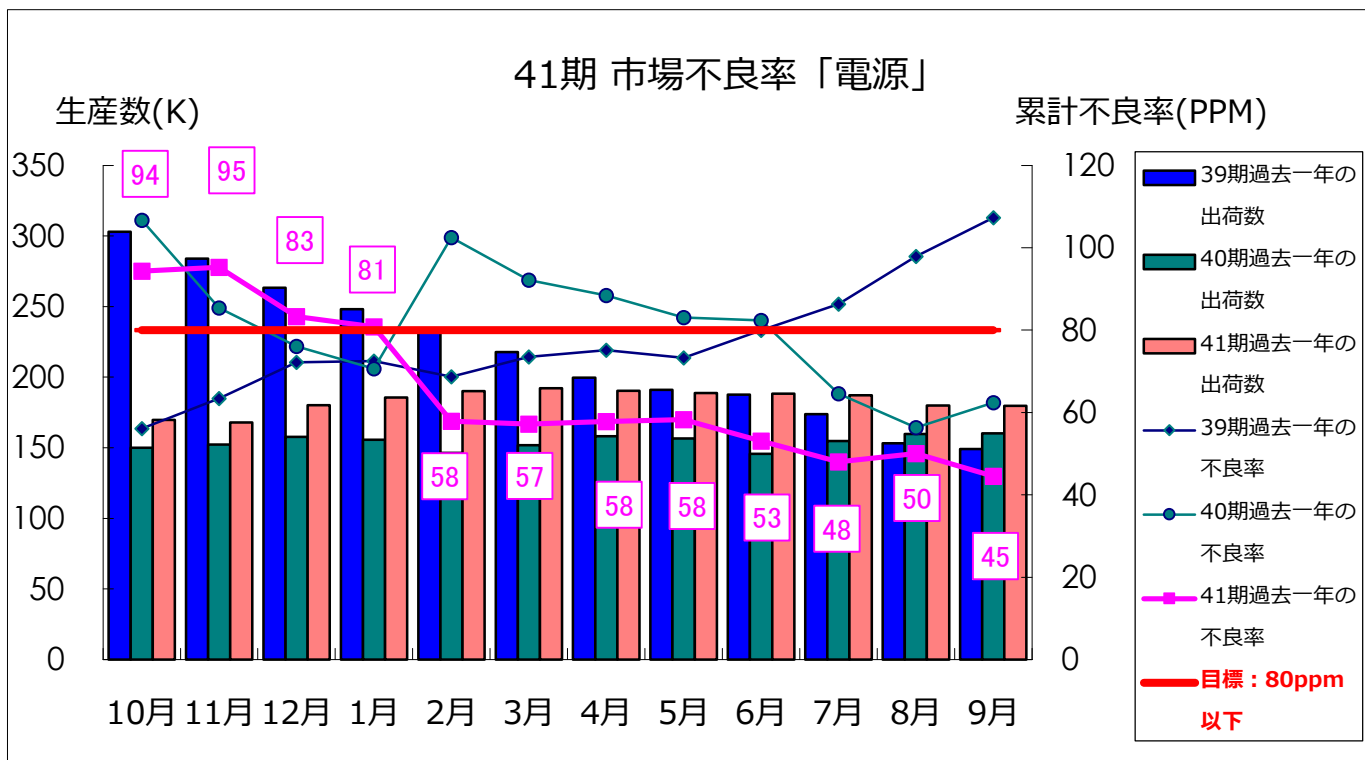
\* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。



# 品質状況

納入不良率 目標 . . . . . 80ppm

41期の累計不良率は、45ppm です。  
 市場不良累計(過去1年分) : 8件 客先クレーム : 0件



# ESG Report (環境)

# 今月のTOPICS

## □ ノーベル賞と環境問題

10月9日、スウェーデン王立科学アカデミー（Royal Swedish Academy of Sciences）は、2019年のノーベル化学賞（Nobel Prize in Chemistry）を、リチウムイオン電池を開発した吉野彰（Akira Yoshino）氏（71）、米国のジョン・グッドイナフ（John Goodenough）氏（97）、英国のスタンリー・ウィットニングガム（Stanley Whittingham）氏（77）に授与すると発表しました。吉野氏が現在の「リチウムイオン電池」のもとになる電池を開発したのは、いまから34年前の昭和60年のことです。なぜ今になって、ノーベル賞が授与されたのでしょうか。スウェーデン王立科学アカデミーは授賞理由を以下のように述べています（一部抜粋）。

The Nobel Prize in Chemistry 2019 rewards the development of the lithium-ion battery. This lightweight, rechargeable and powerful battery is now used in everything from mobile phones to laptops and electric vehicles. It can also store significant amounts of energy from solar and wind power, making possible a fossil fuel-free society.

リチウムイオン電池は軽量・充電式であり、また太陽光発電と風力発電から大量のエネルギーを蓄電できるため、化石燃料が不要となる社会が実現する可能性を切り開いたことが評価されています。今回の受賞は、いまの社会を変えたことへの評価だけでなく、これからより重要になる環境問題に答えを出してほしいという期待がかけられているのです。スウェーデン王立科学アカデミーは、今回の受賞理由の中で次のように述べ、環境問題を乗り越えた新しい未来の社会を作り出すことへの大きな期待を示しました。

Lithium-ion batteries have revolutionised our lives since they first entered the market in 1991. They have laid the foundation of a wireless, fossil fuel-free society, and are of the greatest benefit to humankind.

# 今月のTOPICS

## □ 偉大な発明も普及しなければ意味がない

吉野氏は今回の受賞者3名のうち、唯一産業界からの受賞者となりました。吉野氏は企業に在籍する研究者（以下、企業研究者）であり、企業は利潤を追求する使命を負っています。企業研究者は、その名の通り企業に勤めている社員ですので、研究者といえども企業の利益の捻出に貢献しなければなりません。事実、吉野氏はリチウムイオン2次電池関連の特許によって莫大なロイヤリティー収入を、当時在籍していた旭化成グループにもたらしていました。従って、企業研究者は利益に貢献し得る研究か否かを見抜く力が必要だと、吉野氏は語っています。

「事業に結び付かない研究は遅かれ早かれストップがかかる。その際に、研究者は継続したい一心で、市場や技術の優位性をでっち上げたい気持ちに駆られることもある。だが、そうしたところでうまくいくものではない。だからこそ、できる限り早い段階で対象となる研究の将来性を見極めることが大切だ」

スウェーデン王立科学アカデミーも開発だけではなく実用化に対しても高い評価をしており、今回吉野氏が選ばれた理由の一つでもあります。

Lithium-ion batteries are used globally to power the portable electronics that we use to communicate, work, study, listen to music and search for knowledge. Lithiumion batteries have also enabled the development of long-range electric cars and the storage of energy from renewable sources, such as solar and wind power.

リチウムイオン電池が実用化され、世界中で活用されていることは、世界の環境問題を解決する可能性を示しています。吉野氏も性能だけではなく、コスト面での貢献についてもインタビューなどで触れられており、「実用化」を重視していたことが伺えます。

# サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



# 活動報告

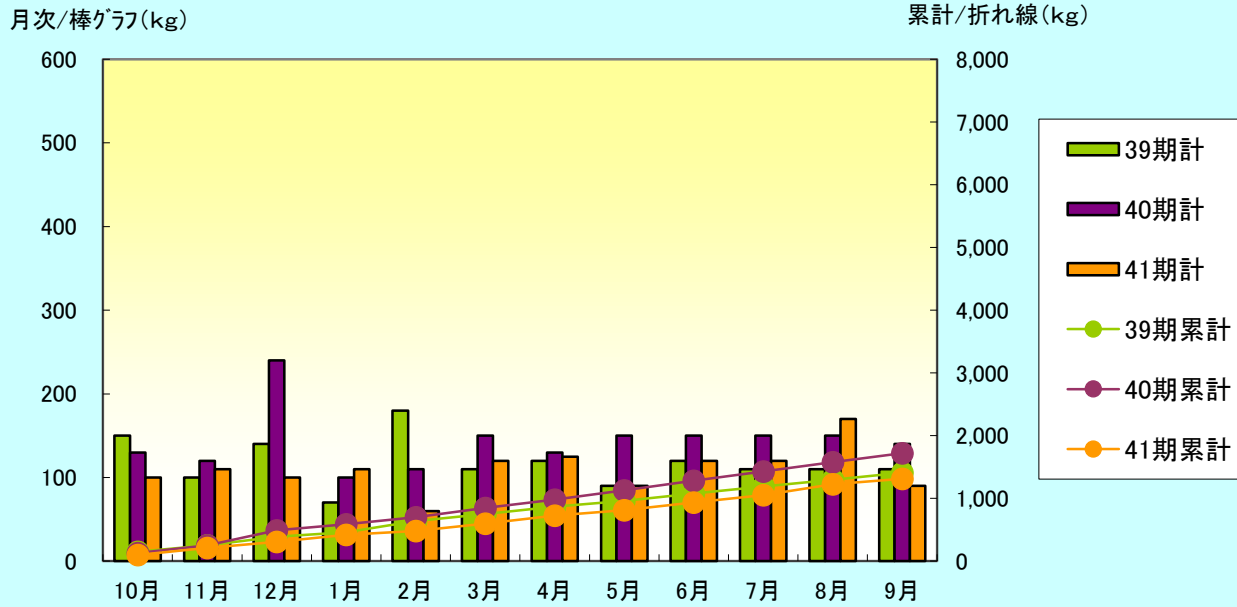
- ①環境への取り組み
- ②廃棄物排出量
- ③コピー用紙使用量
- ④電力使用量
- ⑤切手・ペットボトルキャップ回収

# 環境への取り組み

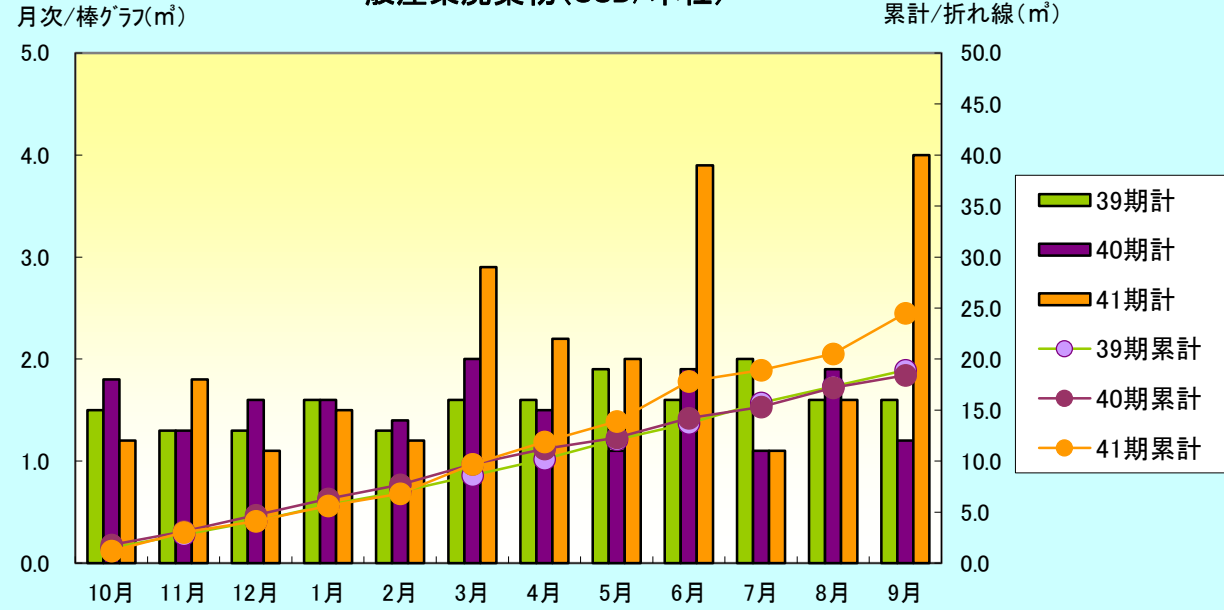
- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



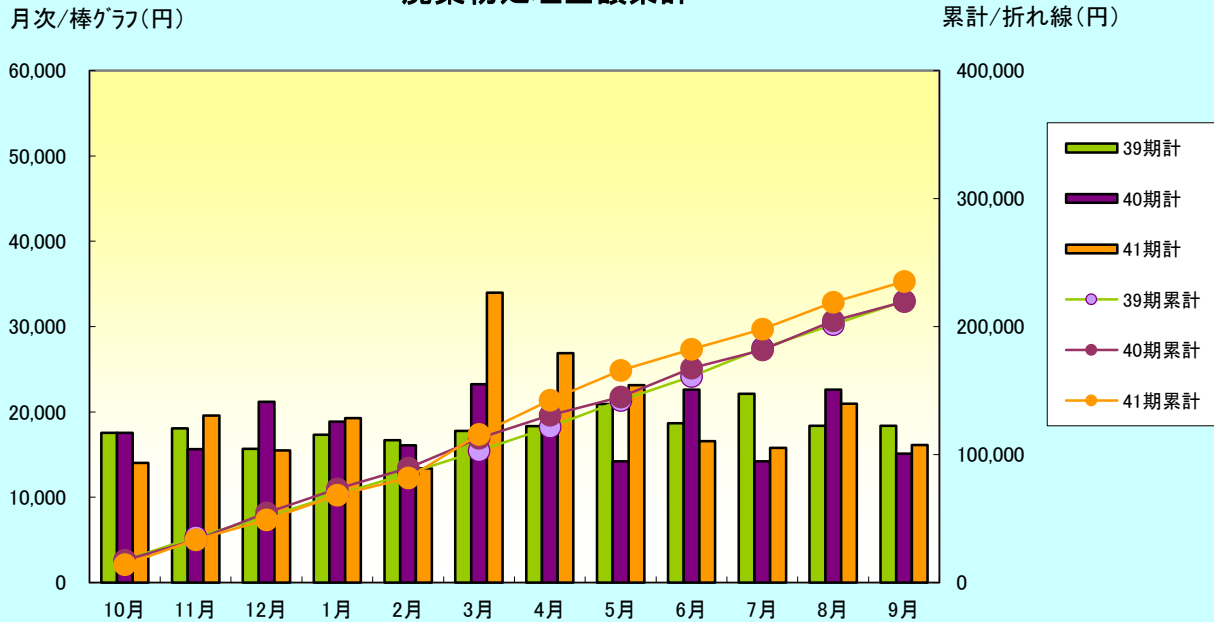
## 一般廃棄物(SSD/本社)



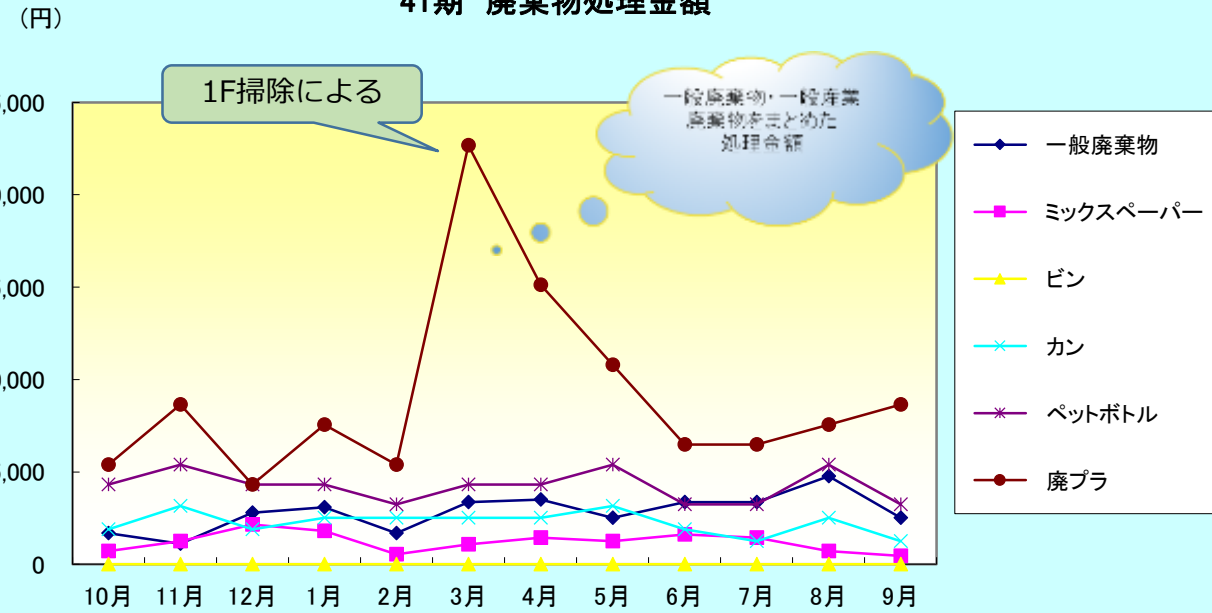
## 一般産業廃棄物(SSD/本社)



## 廃棄物処理金額累計



## 41期 廃棄物処理金額

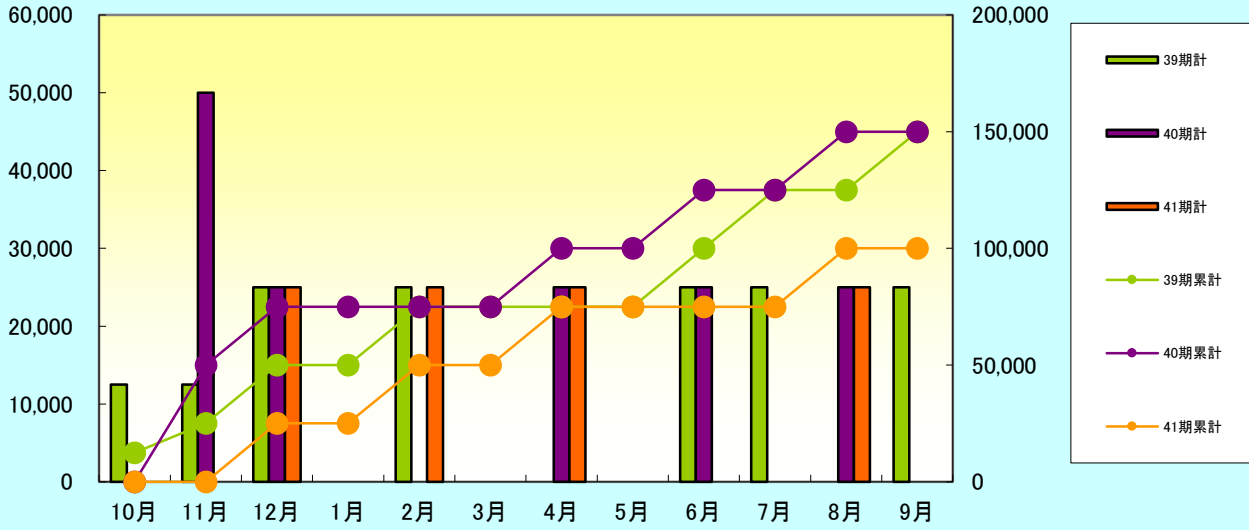




### コピー用紙購入量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(枚)

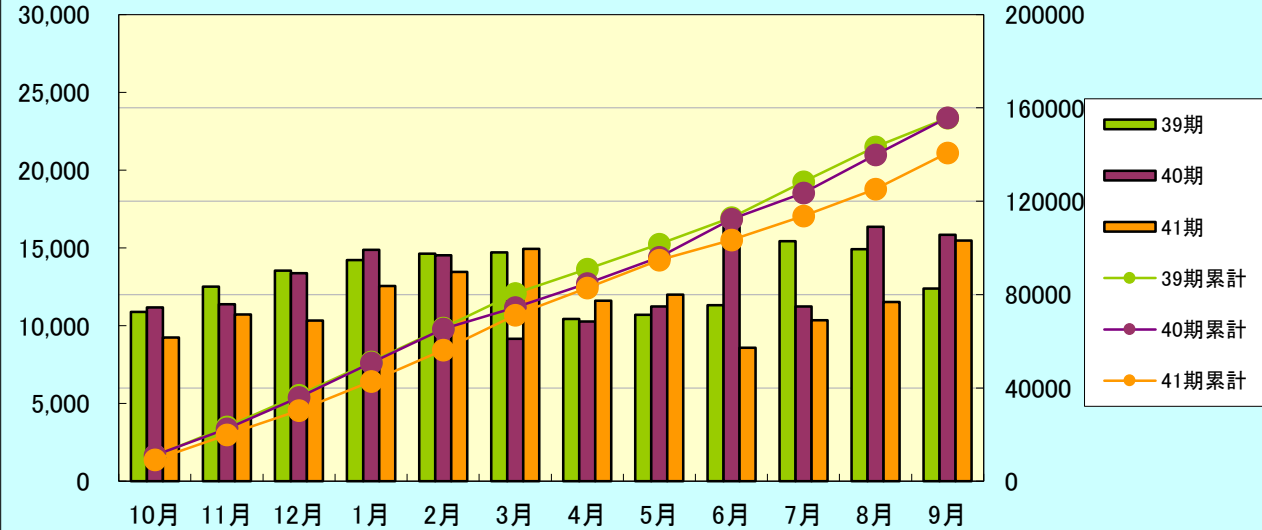
累計/折れ線(枚)



### 電力使用量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

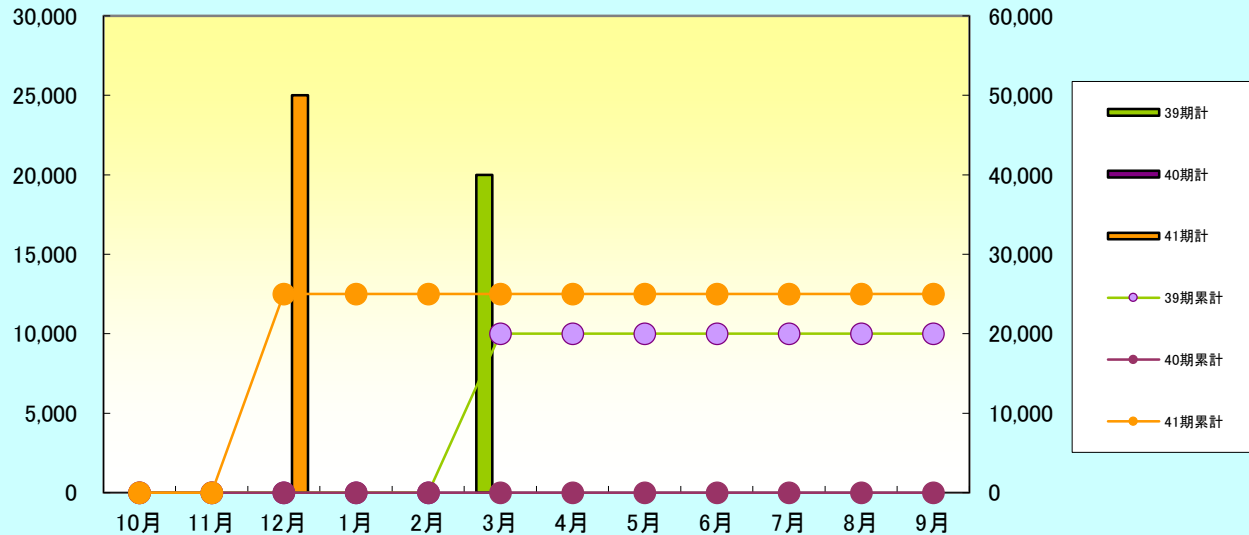
累計/棒折れ線(kwh)



### コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(枚)

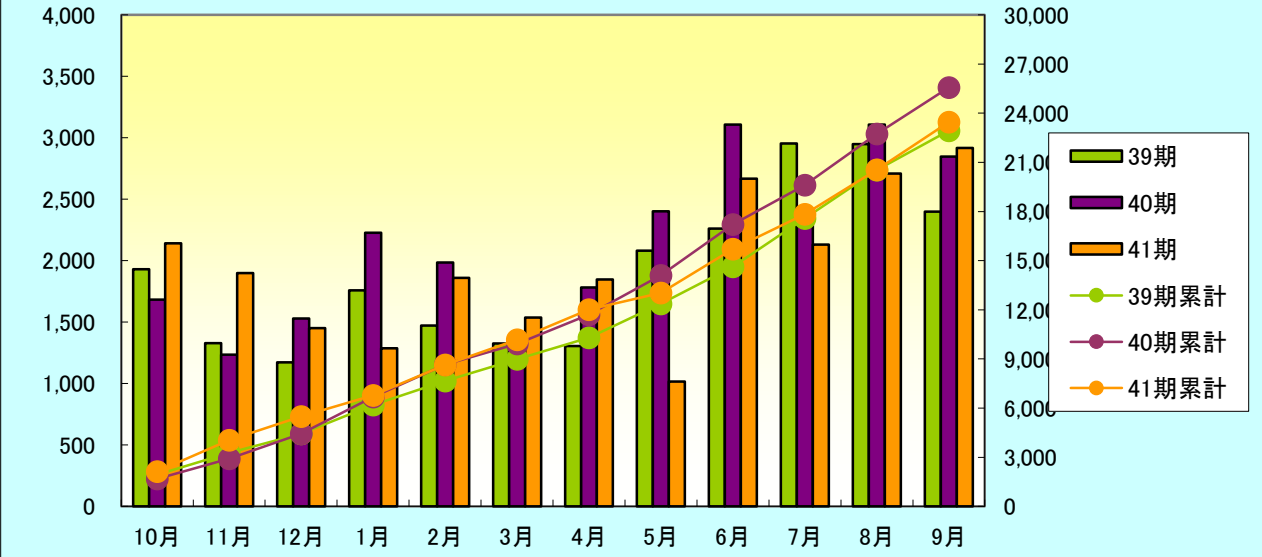
累計/折れ線(枚)



### 電力使用量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

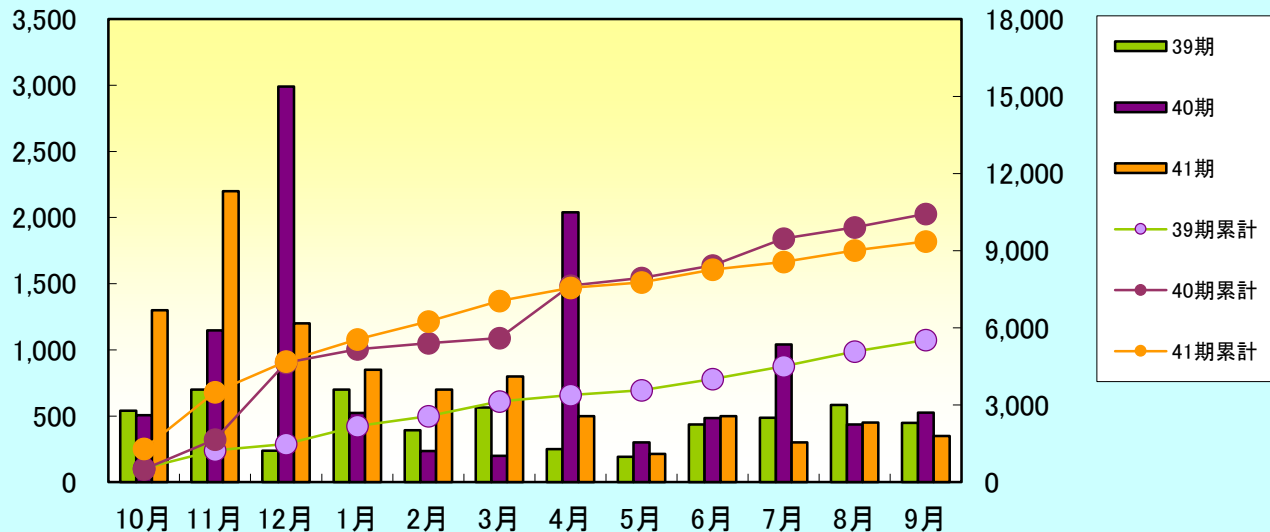
累計/折れ線(kwh)



### ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

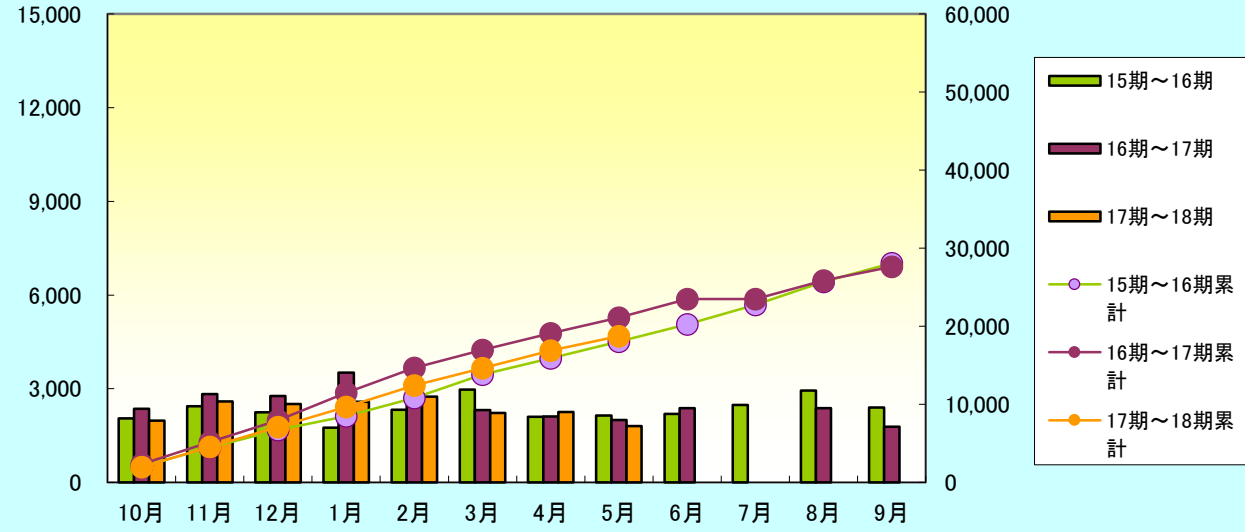
累計/折れ線(個)



### 電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

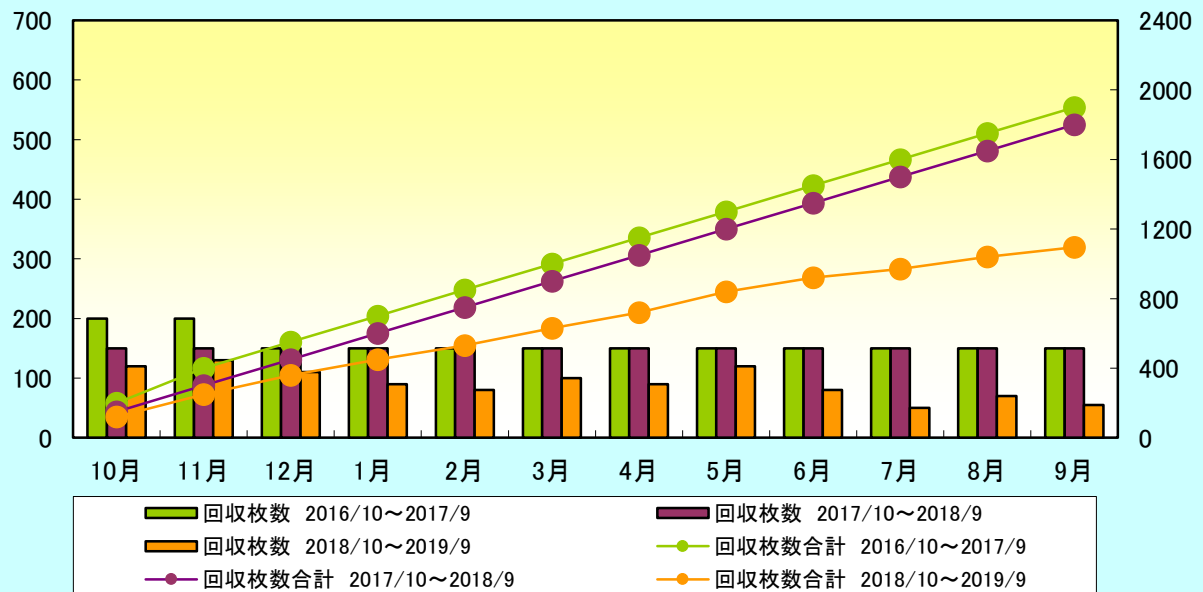
累計/折れ線(kwh)



### 使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

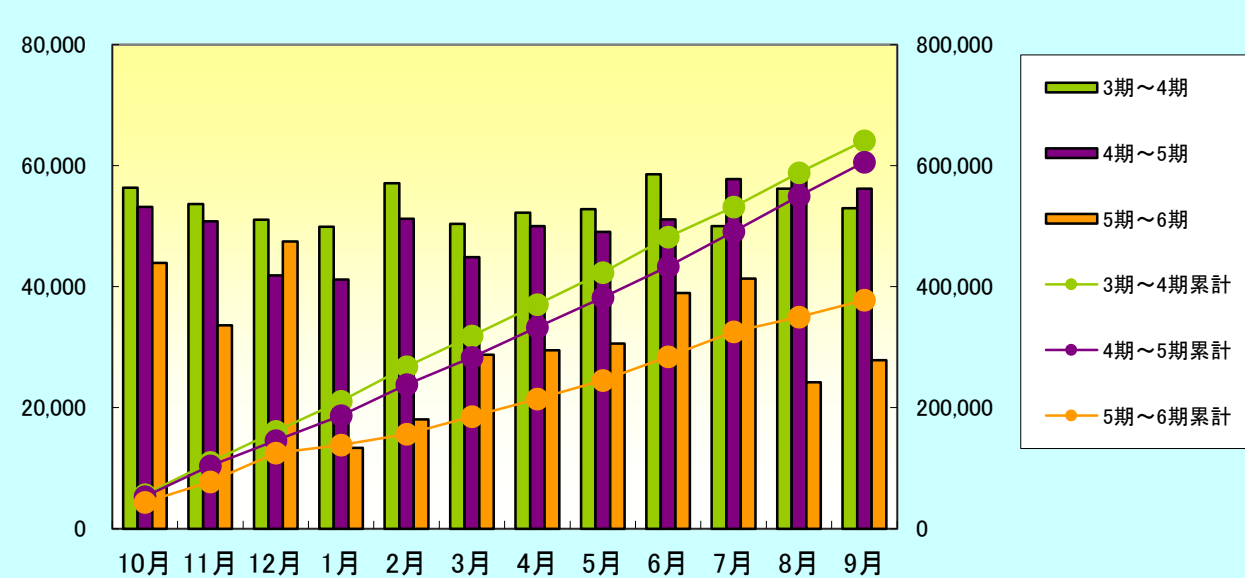
累計/折れ線(枚)



### 電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



# ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

## 今月のTOPICS

### ●日本赤十字様を通じて被災された方々に義援金を寄付致しました

2019年10月に発生しました台風19号により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

サンシングループとして、「日本赤十字社」様を通じ、被災地・被災者の方々への義援金を寄付させて頂きました。

被災地の皆様の安全と一日も早い復旧を心より祈念申し上げます。

# 今月のTOPICS

## ●サンシン大学 BCP対策セミナー『AED講習会』

サンシン大学の一環として、BCP対策セミナー『AED講習会』を開講いたしました。

未曾有の天災が発生している昨今、また、来年2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック大会を目前に控え、街中や出張・旅行先、社内等での急病人発生時に速やかに対応出来るよう、セコム(株)様のご協力により『AED講習会』を開講しました。

講師と共に受講生全員が実際に人体人形・AEDデモ機を使用した実習・実技を通じて、有事の際の心構え、対応策について体得する良い機会となりました。



# 活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

# 地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（9月参加人数：延べ7名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 動物介在ボランティア活動実施（ミタスライフ）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ：紅葉、ハロウィン飾り



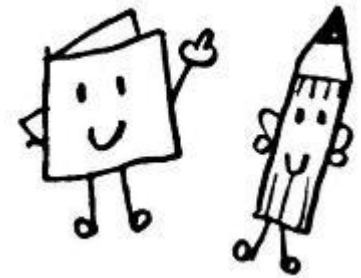
# ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績5名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 2ヶ月に1回、マッサージ・リフレクソロジーサービス実施（女性を中心に10名／回参加）、毎月「健康筋力養成コース」開講（6～10名／回参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2019年5月更新）⇒3年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2019（中小規模法人部門）」の認定取得（2019年2月）⇒3年連続！
- 東京都より「平成30年度スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「平成30年度スポーツエールカンパニー」の認定2年連続取得（2017年・2018年）



# 人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・新製品紹介・英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内を開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能



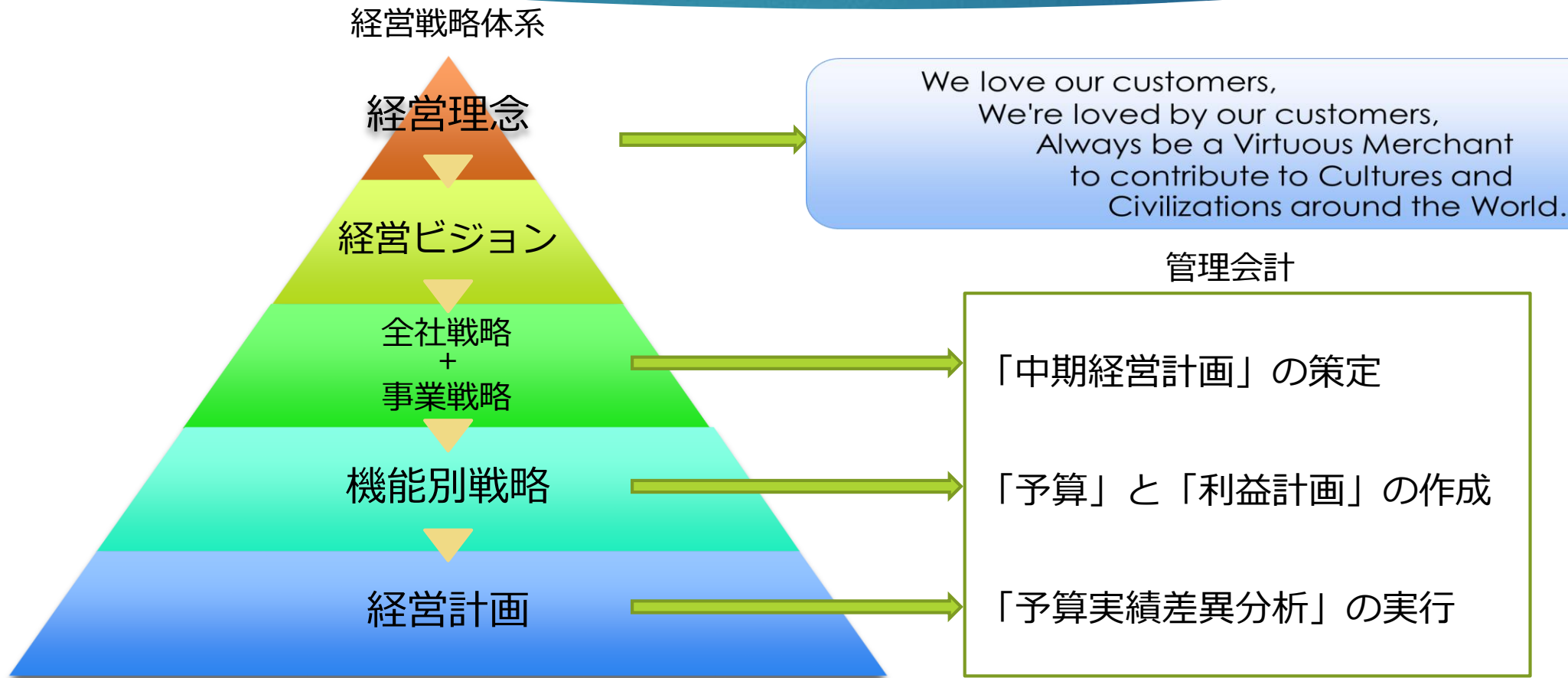
# サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,  
We're loved by our customers,  
Always be a Virtuous Merchant  
to contribute to Cultures and  
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

# 経営戦略体系と管理会計のかかわり



# サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

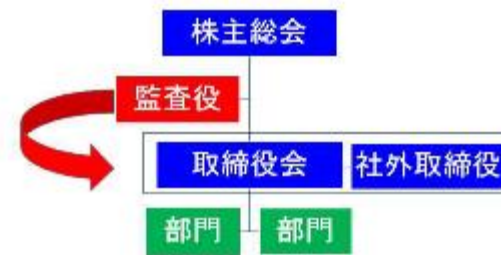
## ■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

## ■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



# サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

# サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人材育成等のCSR活動に努めています。



# サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

## ■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

## ■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

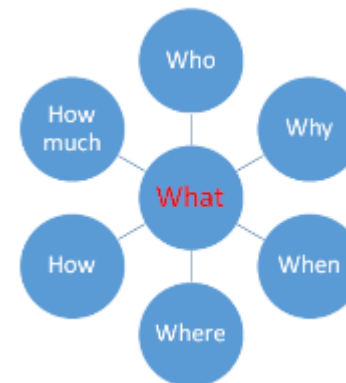
マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



ビジネスの5W2H

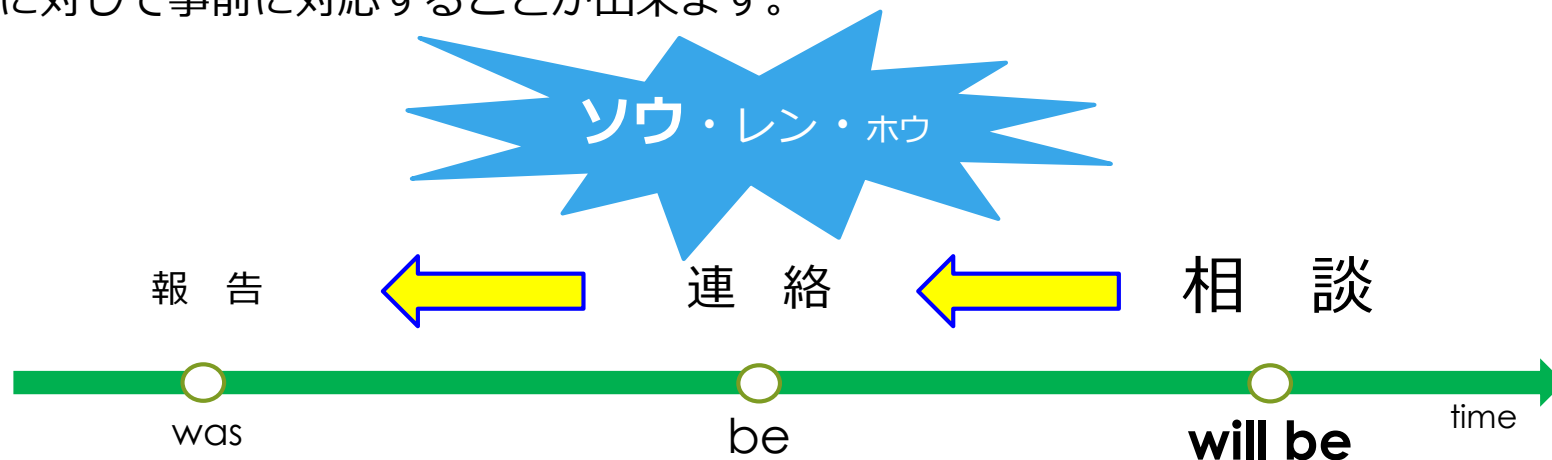


PDCA→P' サイクルの概念



# 未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、2011年



編集  
後記

サンシン電気 人事総務課 Y.M.

これまでに経験したことの無い天災が世界各地で発生しています。日本でも台風や大雨による被害が続き、深刻な状況に置かれている方々が沢山いらっしゃいます。私たち一人一人が今出来ることは限られているかもしれませんが、出来ることから行動に移すことが大切です。被災された方々の安全と被災地の復旧を願って止みません。